

シモジマ東大阪配送センターの稼働について

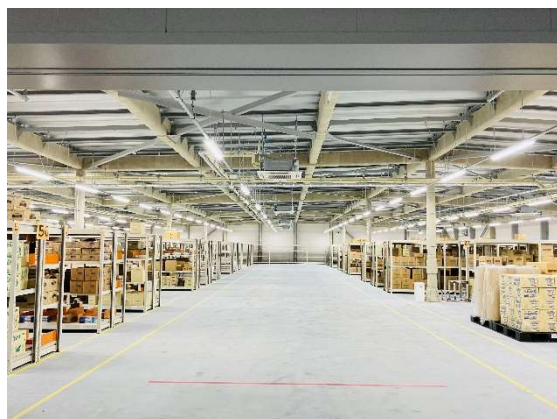
株式会社シモジマ（本社：東京都台東区、代表取締役社長：笠井 義彦）は、2023年6月30日、大阪府東大阪市に「シモジマ東大阪配送センター（以下、本センター）」を竣工し、8月16日に稼働を開始しました。



本センターは、マザーセンターである田沼配送センター（栃木県佐野市）の負荷分散と各センターの役割明確化、西日本物流のさらなる品質向上を目的に、旧西部配送センターを建て替えたものです。

これにより当社配送センターは、田沼配送センター、東部配送センター（埼玉県さいたま市）、東大阪配送センターと、外部委託倉庫として稼働している大阪南港物流センター（大阪府大阪市）の計4拠点になります。

■東大阪配送センターの特徴



（1）少量多品種の保管・出荷

本センターは、バラ出荷にも対応し得るセンターの構築を目的に、少量多品種の商品保管を実現するため、天井高の異なるフロアを組合せ、床面積を最大限利用した地上5階建ての建造物です。

延床面積は改築前に比べ、約2.5倍に拡大しました。

今後は運用の最適化を図り、当社の西日本物流の核としての機能を果たしてまいります。



（2）生産性を重視した設備

ピースソーターや貨物エレベーター、垂直搬送機、ドッグレベラーなど、荷物の積み下ろしから出荷までの一連の業務を効率的に行うために、商品特性にマッチした設備を配置しています。

出荷量は、ピーク時で月間約620t程度を想定しています。



(3) サステナビリティの取組み

①労働環境の整備

全国的な課題である物流部門の人材確保を一層強化するため、本センターでは快適で働きやすい環境づくりにも注力しています。センター内の天井には大型シーリングファンを3基、適所にスポットクーラーを配置しました。これにより効果的な空気循環を促進し、最適な温度環境を維持します。

また、事務所棟の4階と5階それぞれに整備した休憩室は、従業員が十分に休息を取れるよう、明るさと空間のゆとりを重視しました。



②再生可能エネルギーの活用

屋上には約 500 枚の太陽光パネルを設置し、電力の自家創出により CO₂ 直接排出量の抑制に取り組めます。

発電量は、年間 340,000kWh 程度となることを想定しています。

■施設概要

名称	シモジマ東大阪配送センター
所在地	大阪府東大阪市今米2丁目6-25 阪神高速13号東大阪線「水走」IC約1.5km、「中野」IC約2km
敷地面積	5,125.52 m ² (約1,557.69坪)
延床面積	10,666.93 m ² (約3,226.74坪)
構造・規模	鉄骨造/地上5階建て
天井高・耐荷重	1階、3階東側：5.5m、2.0t/m ² 3階西側、4階、5階：3.0m、1.0t/m ²
搬送設備	50シュートピースソーター2基、貨物用エレベーター(3.5t)1基、 垂直搬送機(1.5t)2基、トラックバス7台、 電動エアバッグ式ドックレベラー1基
着工	2022年8月1日
竣工	2023年6月30日
稼働	2023年8月16日
施工主	大和ハウス工業株式会社
運営	シモジマ加工紙株式会社

■シモジマの考えるサステナビリティについて

当社のサステナビリティ経営に関する情報は、こちらからご確認ください。

<https://www.shimozima.co.jp/sustainability>

【お問い合わせ先】

株式会社シモジマ 広報室
住所：東京都台東区浅草橋5-29-8
TEL：03-3863-4061/FAX：03-3865-4470
URL：<https://www.shimozima.co.jp>